

祝・茶屋町々会創立三十五周年記念式
 10月21日 在富士公会館
 幸畑団地西町会創立十周年記念式
 11月11日 在南部老人会多目的の家

○地域連合体活動盛ん
 本年度になつてから、次の地域活動がみられた。
 市長と語る市民の集いは、小柙地(代表山口健次郎) 佃地(代表岩谷貞作) 新城地(代表増田福松) 南部地(代表須田源之助)
 交通安全パレード実施は、滝内(代表黒田徳蔵)と 西部地(代表工藤四郎吉) 佃地(代表岩谷貞作) など、一つの事例として南部地の実施内容と次に紹介してみよう。

提案事項	提案町会	発言者
柙町荒川線立体交差について	曙町会	岩崎 廣
大野堤堤防工事の再開を望む	〃	黒滝直太郎
排水溝の清掃について	北金沢町会	杉沢誠一
廻り地下道の歩行者専用道と自転車専用道とを区別して利用したい	〃	〃
学校保育所等の外灯を明るくしたい	東常盤町会	工藤三郎
道路の舗装修理その他	宝来町会	岩間 光
道路側溝の整備とカネを	協和町会	神 博
排水路整備について	〃	吉田 武士
側溝について	若葉町会	成田 東
私道について	〃	副会長 藤田 嘉勝
祝日のゴミ回収集について	常盤町会	中村 正雄
集会所建設について	山田町会	木村 嘉雄
地下道自動車走行について	南旭町会	堀内 一夫
道路の照明について	信用町会	長谷川 政勝
道路補修について	南部地連合会	須田源之助
道路補修、除排雪、下水道整備	南部地連合会	須田源之助

市政と該会とは地域に即した問題を地域単位で話し合う場合と、全市共通問題を全体会議で行う場合があると思う。いずれも地域住民の福祉に関する仕事で、町会長本来の仕事である。民生委員や、地社協の仕事ではない、その他所内に発生する、建物公害、騒音公害、ダンプ公害、等々の昔のよりの組織では対処できなくなつてきている。地域連合体を整備して機能を活発にして、おくれをとり戻したいものである。
 (換球器五本事務局にあります。詳しくください)

伸言
町連
町会の規模を考ふる
 町会は世帯数からみて、大中小型といふ。だが、それそれ町会長の運営能力や組織の機能により、どちらがよいとは一概にはいえない。現局面からみて、分町の際のトラブル、ゴミ収積所の管理面で注意をうけた。世帯数の把握不十分からくるゴミ、ゴミなど、殆ど世帯数四百以上の大型町会である。大型はそれなりの利点もあり、利点を生かして立派に運営しているところもあり、小型でも独特の親睦機能を生かして、情報伝達も速く、コミュニケーションも深い。今回の平和観音像修復募金には、文書と受取った翌々日、イの一番に一口、志万田也を持参してきたのは、世帯数三の田代平町会であった。(情報伝達の早い例) 試みに三市と比較してみた。

市名	市の調査	町会加入の世帯数	町会数	一町会の平均世帯数	地域連合体数
青森市	八八五七〇	八〇一三三	三三六	二四五	目下よく検討中
弘前市	五三九二二	四八九三九	二七三	一七九	二二地
函館市	二〇九四八一	七四六五九	一三〇	五七四	四地

(市の世帯数調査、青森弘前は54.8.31現在、函館は52.28現在) 資料でみる限り、函館は大陸的、大農、式で、一単位の町会も連合体もバカでっかいが、落穂(町会未加世帯)も多し、弘前は大学教授の指導のせい、組織も運営もよく行われているようである。青森は、最近やと部活動が始動し、連合体とこれから整備しようとして段階で、将来性のある開港途上国である。大型も中型もそれなりの条件整備が必要である。事務局もなくなれば、注民に迷惑かけないであろう。

他人の禪で相撲とる

他の団体のブロックから理事とえらび、こちらの理事会を構成し、理事会で決ったことは、理事会止まりで、断念へはさっぱり浸透しないのが、当会の現状。これでは、人の禪で相撲とっているようなもの、生れて二十五周年にもなつたら、成人を過ぎている、ぼう張する自分のモノは、借りふんでは、問にあわなくなる、ハミ出しては物笑いである。自分のモノに寸法あわせて禪をつくり、自分の相撲とりたいものである。気のさいな者は、三十五才で横綱になつて、遅ればせながら、幕内で相撲とりたいものである。

朝夕、めつさり寝てくたつた、嫌な季節の予感、かきわが、ガングラスの一万トン岸壁のランプの影も、長々と海へ向つて伸びていく。
 ものの影、みな長々と、けせいの冷え、かつお。